

北朝鮮ミサイル発射に係る抗議声明

6月5日、北朝鮮は少なくとも6発の弾道ミサイルを日本海に向け連射し、我が国の排他的経済水域外に落下させたことが明らかとなった。

折しも日本海においては、日本漁船によるスルメイカ漁期に入った矢先、今年16度目にもおよぶ度重なる北朝鮮の蛮行によって、漁業者の操業意欲は甚だ削がれるばかりか、漁業者の安全が深刻に脅かされ続けている。

全国の漁業者の怒りは頂点に達し、また、終わりの見えない恐怖に晒され続けていることに、深い疲労さえ感じている。

我々JFグループは、漁業者の生業と生命を脅かす北朝鮮の蛮行に対し、重ねて強く抗議するものである。

岸田総理は、「情報収集・分析に全力を挙げ、国民に対して、迅速・的確な情報提供を行うこと」、「航空機、船舶等の安全確認を徹底すること」、「不測の事態に備え、万全の態勢をとること」の3点を関係府省庁に指示された。

政府におかれては、引き続きあらゆる手段を講じて北朝鮮の蛮行を阻止し、全国の漁業者が安心して漁業を営めるよう最善の措置を講じることを強く求めるものである。

2022年6月6日

全国漁業協同組合連合会
代表理事会長 岸 宏